

氏名	土 井 謙 司
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 521 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和57年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科病理系病理学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	アデノウイルス12型接種ラットの側脳室に於ける初期腫瘍病 変の走査電子顕微鏡
論 文 審 査 委 員	教授 矢部芳郎    教授 栗井通泰    教授 小田琢三

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒト・アデノウイルス12型(Ad12)を新生仔ラット20匹の脳内に接種し、側脳室表面に於ける初期変化を走査電子顕微鏡で観察した。

Ad12接種21日令以後のラット15匹全例で、脳室上衣下細胞に先ず細胞表面の微細顆粒状変化と配列の乱れがみられ、更に集簇・癒合し結節性の増殖を示すものが観察された。

21日令5匹中1匹と35日令の5匹全例に於いて、脳室上衣の線毛を圧排し脳室腔内に突出する異型細胞の結節性増殖を認めた。これらは、細胞形態、段階的な増大、並びに部分的な伸展性の拡がりからAd12接種による脳室上衣下未分化細胞の増殖性病変で、特に35日令で脳室表面へ突出した岩漿様の結節は初期の腫瘍性増殖と考えられた。これらの結節の表面には多数の壊死細胞塊が付着し、また結節周囲の線毛が脱落して泥状の滲出物が認められた。

脈絡叢表面に付着したKolmer細胞は正常ラットにみられるよりは有意に分布密度が高く、Ad12投与による髄液の変化によって増加したものと考えられた。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、アデノウイルス12型を新生ラットの脳内に接種し側脳室壁の状態を走査電顕により経時的に検索し、接種後21～35日で脳室腔内に突出する異型細胞の結節性増殖を観察し、これが脳室上衣下未分化細胞の増殖性病変であり、又これらの脳室腔内へ突出する異型細胞の多くは壊死に陥り脱落することを観察したもので、

医学博士の学位に値する業績であると認める。